資　料　4

観光まちづくりリーディングプロジェクト
進捗状況

２０２６．１０．２７

観光まちづくりリーディングプロジェクト

まちだ
未来づくりビジョン
2040

町田市観光まちづくり
基本方針

2017～2030年度

基本施策1
町田ならではの地域素材の
洗い出し・磨き上げ

基本施策2
観光まちづくりの担い手と
態勢づくり

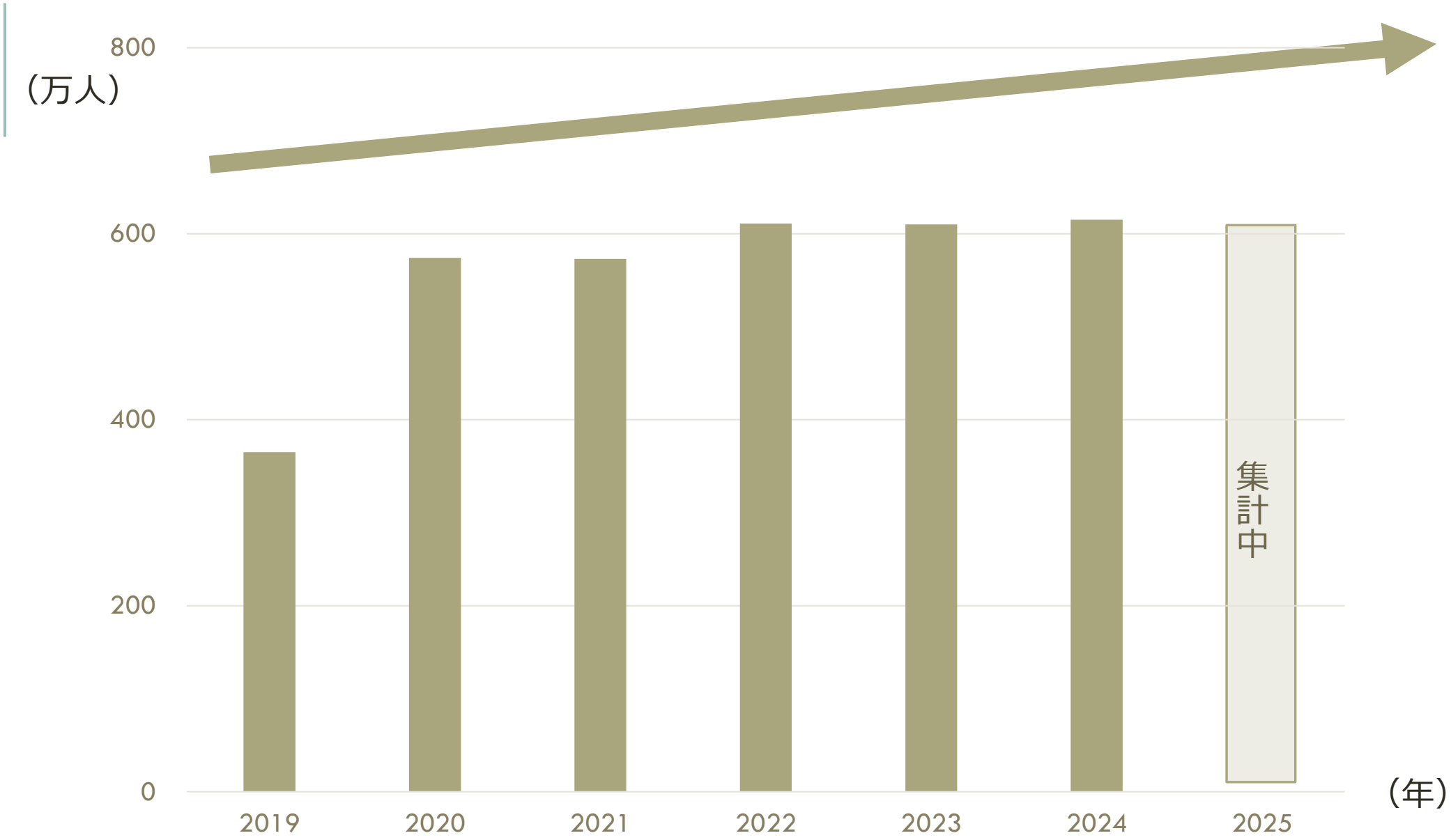
基本施策3
地域素材が持つ魅力の伝達と
交流の拡大

町田市観光まちづくり
リーディングプロジェクト

2022～2026年度

- 1－1　「町田薬師池公園四季彩の杜」を町田のシンボルに
- 1－2　花とみどりの魅力を活かした事業の展開
- 2－1　人や情報が集まる観光ネットワークの創出
- 2－2　「まちなか」と「おくまち」の連携の強化
- 3－1　ウィズコロナのシティセールスの推進
- 3－2　季節感をアピールした情報発信
- 3－3　ロケーションの支援

町田市の観光入込客数



1－1 「町田薬師池公園四季彩の杜」を町田のシンボルに

町田市の魅力的な観光拠点のひとつである「町田薬師池公園四季彩の杜」を更に磨き上げます。

- 四季彩の杜全体の連携や調和を図った一体的なコーディネートにより更なる魅力向上を図る
- 既存イベントに新たなコンテンツを追加し、付加価値を創出
- 長期的な視点でブランディングを行い、何度でも訪れたくなる魅力の創出

▼

【指標】来園者数

目標値（2026年度）：125万人

2024年度：**139**万人

▼

2025年度：**129**万人



1−1 「町田薬師池公園四季彩の杜」を町田のシンボルに

2025年度　取り組み内容・成果





- 「春フェア」「秋遊び」を開催
- 施設運営連絡協議会を実施
- 町田リス園基本計画策定に向けた検討を実施
- 交通誘導サインやエリア内サインの準備検討を開始
- 北園や薬師池公園の在り方について関係部署との検討を実施

2026年度　取り組み内容



- 「春フェア」「秋遊び」の開催
- 施設運営連絡協議会の実施
- 町田リス園基本計画の策定に向けた検討
- 交通誘導サインやエリア内サインの検討

1−2　花とみどりの魅力を活かした事業の展開

市民にとって大切な資産である桜に加え、町田を彩る花やみどりを魅力ある地域資源へと発展させます。

- ウィズコロナの時代に即した、地域が主催するさくらまつりの支援
- さくら、ぼたん、ダリア、紅葉など、花や緑を活用した季節ごとの魅力創出
- フットパスの振興で地元の魅力を再発見

▼

【指標】イベント等の回数

目標値（2026年度）：30回／年

2024年度：38回／年

▼

2025年度：42回／年



1−2　花とみどりの魅力を活かした事業の展開

2025年度　取り組み内容・成果

- 2025町田さくらまつりを開催　➡　来場者63,600人
- 里山を歩くイベントを開催　➡　11回開催
- 花とみどりの魅力を感じるツアーを開催　➡　20回開催
（町田市観光コンベンション協会主催）
- フットパスや里山に関する特集コーナーを設置（鶴川駅前図書館）





2026年度　取り組み内容

- 町田さくらまつりの開催
- ぼたん、ダリア、紅葉など、季節ごとに花やみどりを活用したイベントの開催
- フットパスや里山に関する特集コーナーの設置（中央図書館）

2−1　人や情報が集まる観光ネットワークの創出

町田の良い魅力に気づいたり、町田に関心を寄せる人の増加を目指し、そのための機会をつくります。

- 市内のイベント情報などを集約して発信するポータルの構築
- 四季彩の杜を題材にしたワークショップの開催や、町田かるたを使った大会の開催など、町田のファンを増やすイベントの実施

【指標】ポータルサイトの訪問数

目標値（2026年度）：18,000回／月平均
2024年度：検討中

2025年度：2025年2月～「まちだイベントナビ」運用開始



2−1　人や情報が集まる観光ネットワークの創出

2025年度　取り組み内容・成果

- 四季彩の杜でFC町田ゼルビアとコラボしたスタンプラリーを実施。イベント開催にあわせて、鶴川香山園とのコラボイベントを実施
- 「相原駅前マーケット」や「相原プロレス」の開催、竹灯籠ライトアップ（相原駅）の実施を支援（相原まちづくり協議会）
- 地域が主体となって開催した「ようこそ！鶴川OMOTENASHI祭り2025秋」を支援（鶴川地区協議会）
- 多摩地域マイクロツーリズムプロジェクト「タマリズム」に参加し、大学生が考案した企画を支援





2026年度　取り組み内容

- 鶴川エリアや相原エリアのプロモーション
- 四季彩の杜のプロモーションイベントの実施
- 「タマリズム」に参加し大学生が考案した企画等の支援

2−2　「まちなか」と「おくまち」の連携の強化

まちなかの情報とおくまち（里山など、中心市街地から離れた町田の自然豊かなエリア）の情報が双方でわかるような連携の仕組みづくりをします。

- 町田駅周辺施設での「おくまち」の紹介
- 小野路宿里山交流館での、町田駅周辺の飲食店、名産品などの紹介

▼

【指標】紹介回数

目標値（2026年度）：累計10回

2024年度：累計8回（＋2回）

▼

2025年度：累計10回（＋2回）



2−2　「まちなか」と「おくまち」の連携の強化

2025年度　取り組み内容・成果

- 町田市庁舎イベントスタジオにて「町田相原展」を開催
  （協力：相原まちづくり協議会）
- フットパスや里山に関する特集コーナーを設置
  （鶴川駅前図書館）





2026年度　取り組み内容

- 町田市庁舎イベントスタジオにて、「町田相原展」の開催
- フットパスや里山に関する特集コーナーの設置（中央図書館）

3−1 ウィズコロナのシティセールスの推進

デジタル技術を活用した新しい観光プロモーションを展開します。

- デジタルスタンプラリーの実施
- 観光コンテンツのデジタル化

▼

【指標】デジタルコンテンツ数

目標値（2026年度）：累計15回

2024年度：累計13回（+4回）

▼

2025年度：累計16回（＋3回）



3−1 ウィズコロナのシティセールスの推進

2025年度　取り組み内容・成果

（デジタル技術を活用した取り組み）

- 『アニメ「うたごえはミルフィーユ」とコラボした音声ARアプリを使った回遊イベントの実施』　➡参加者数　約850名
- 小野路宿里山交流館や四季彩の杜を紹介するショート動画を作成し、ＧＩＯＮスタジアム大型ビジョンやＳＮＳ等で放映
- ＴＯＫＹＯデザインマンホールデジタルラリーへの協力（主催：東京都）



©うたごえはミルフィーユ製作委員会

（その他の取り組み）

・ＦＣ町田ゼルビアのビジターゲームの試合会場で、観光案内ブースを出展

・アジアチャンピオンズリーグの試合開催時に外国の方向け観光案内ブースを出展

2026年度　取り組み内容

- アニメ作品とデジタル技術（スマートフォン）を活用した観光スポットを巡るイベントを開催
- 多様なターゲット層に向けた観光プロモーションの実施

3－2　季節感をアピールした情報発信

都市と自然を併せ持つ町田の魅力を、季節を感じられるプロモーションというテーマを掲げて発信します。

- 四季ごとの観光プロモーションの展開
- WEB媒体へのニュースレターの配信

▼

【指標】情報発信回数

目標値（2026年度）：4回／年

2024年度：5回／年

▼

2025年度：4回／年



3－2　季節感をアピールした情報発信

2025年度　取り組み内容・成果

- プレスリリース配信サイトを活用したニュースレターを配信

  ➡ 秋・翌春に開催の市内イベント等のプロモーション
- 町田市魅力発信の記事・ショート動画を作成し、お出かけ情報サイト「アウモ」や観光コンベンション協会等のSNSで発信
- 四季彩の杜の秋のイベントについて、イベントコラボ先と連携し、コラボ先の広報媒体を利用した告知の実施



2026年度　取り組み内容

- ニュースレター等を通じた、季節感をアピールするプロモーションを展開



3−3 ロケーションの支援

映画やテレビドラマのロケーション受け入れを支援するほか、情報番組等へ情報提供し、町田市での撮影を促します。

- ロケーション受け入れ態勢の整備
- 情報番組等への情報提供

▼

【指標】 放送回数

目標値（2026年度）：50回／年

2024年度：91回／年

▼

2025年度：93回／年



3−3　ロケーションの支援

2025年度　取り組み内容・成果

- 東京ロケーションボックスを通じてロケ地の情報提供を行い、映像撮影会社等からのロケーション相談を受付
- 放送された番組について、町田市ホームページで紹介

（主な放送作品）

・メシドラ～兼近＆真之介のグルメドライブ～（旅番組）

・火曜の良純孝太郎（バラエティ番組）

・テミスの不確かな法廷（ドラマ）



2026年度　取り組み内容

- ロケーション相談を受付し、放送された番組については町田市ホームページで紹介
- ロケーション受け入れ態勢の整備に向け調整